

お客様紹介

島根マツダ有限会社 出雲店 様

〒693-0006

島根県出雲市白枝町635-11

TEL 0853-21-2333

FAX 0853-21-2335



玄関前に新設された、キャノピー。お客様への納車等、雨の日でも天気を気にせずに対応が出来ます。お客様にも大好評の設備です。

Be a driver

車は乗って楽しいものです。少数をターゲットに絞り、その人たちが乗って楽しい車に特化する。そういった企業コンセプトで、お客様の走る喜びを追求しています。

リニューアル

事務所内がワンフロアになり、バリアフリー化されました。以前は、事務所隅に営業スタッフの部屋があり、お客様と別の空間にいました。今回の工事では、壁を取り払い、お客様と同じ空間になったのです。出先から帰って事務所に入ると、お客様の顔が見えるので、その場で挨拶が出来ます。お客様の声も届きやすくなり、コミュニケーションがとりやすくなったと好評です。

また、このオープンスペースの中、一部商談スペースに衝立を設置しています。商談に際して集中してお話出来るように、状況に合わせて、使い分けています。



事務スタッフの吉岡様、金守様(写真左より)。「気持も明るくなります。」



アクセラの新型車をセンターに左から、柳楽様、佐貫様、杉橋様、足立様。「ほとんどが20才代でみな仲が良いですよ。サービス工場もきれいになって、みながんばっています。」と、元気に応じていただきました。

お客様は財産

お客様のために考えて行動するスタッフ達です。全員が同じ考えで行動し、ベクトルが一つになっています。お客様という財産をつくるには人が変わってはうまくいきません。お客様にかわいがってもらわなければなりません。地域に根ざした営業活動が大切です。



出雲店店長の佐藤様

お客様から必要とされる

全員で地域一番になるようがんばっていく。お客様にとって、必要とされる店でありたい。今回リニューアルして、「お客様の店が新しくなった」と発信していく。お客様の店だから、来店していただき、ゆっくりくつろいでいただきたい。

佐藤店長から力強いお言葉をいただきました。事務所やサービス工場がリニューアルされ、皆様心機一転今まで以上に業務を遂行されています。スタッフの元気で明るい笑顔で出迎えられ、居心地抜群です。是非ご来店ください。(聞き手長野)



快適空間でますますパワーアップです。左より高木様・土江様。

危険物車輛の点検

毎年秋に、消防署による危険物車輛・タンクローリーの路上立ち入り検査が行われますが、これに先立ち、出雲消防署より来社いただき、当社タンクローリーの検査を受けました

検査では、携行書類の確認、危険物の漏れがないか、タンク・配管等の損傷、マンホールの密閉状況等を確認されました。不備事項はなく、無事に検査を終えました。

今後も危険物を取り扱っているという意識を常に持って、安全な運行をしていきます。



出雲消防署による危険物車輛の検査の様子



自分たちの商品・サービスに自信と誇りを持つ

私たちは「お客さま繁栄お助け業に徹する」ことを会社の方針として掲げています。私たちの商品やサービスをお客さまに提供することで、お客さまが繁栄されるためのお役に立つことが目的です。

お客さまに「山陰興業に頼んで本当によかった」と言って頂けるには、どこにも負けない商品と、どこよりも優れた技術である事が欠かせません。そして私たち自身が、その商品とサービスに「自信」と「誇り」を持って提供する。その結果お客さまに喜んで頂いた時、私たちはお客さまの喜び以上の喜びをいただけるのです。

今の商品・サービスを徹底して磨き、お客さまの要望に合っているか、期待以上か、を常に検証しながら改善を続け、「自信」と「誇り」を持って提供できる商品・サービスにしよう。(安原)

お客様から感想文をいただきました

マンガで読む古典
方丈記

水木しげる

S社O様



鴨長明という人は、平安時代から鎌倉時代はじめまでを第三者の立場から眺めて記録に残した人だったと改めて思いました。

水木先生は、方丈記の内容だけでなく、なぜ著者の人生をもちからめて描いたのか、疑問に思いました。そのほうが、何故そのような考えを鴨長明が抱くようになったかわかり、最良の方法であったと思います。

同シリーズの古事記もおもしろく、お勧めします。

元氣の出る言葉

中村天風師

笑う角には福きたる

悲しいこと、辛いこと、消極的な出来事があつたら、努めて「笑う」ようにする。笑えば心もちは、朗らかにになり、鬱(うつ)な気分が開けてくる。笑えば楽しくなつてきませんか？この笑いの効用を応用すれば、人生がとてもいい結果になることでしょう。(長野)



「きぬがさたけ」キノコの女王にも例えられる華麗なキノコ。純白でレース編みに似たマントがユニークです。高級中華食材だそうです。横田町内で見つけました。

社長が薦める今月の一冊

ダイエット・糖質制限に必携！！ 食品別糖質量ハンドブック

1001食品の糖質・カロリー・塩分・たんぱく質量が一目でわかる！！

監修 江部康二

(財) 高雄病院理事長
洋泉社刊



著名な江部先生の講演を聴く機会に恵まれました。糖質を制限すると、肥満の解消とかいろいろな生活習慣病が改善されるというのです。講演の後、先生がひざを交えて熱っぽく、自らの肥満と糖尿病を克服された体験談を語られました。

糖質とは、身近な食品はご飯やうどんです。うーんと一瞬ためらったものの、先生の明るい笑顔、顔のツヤ、身のこなしの若々しさにつられて決意しました。

外食のご飯は豆腐に替え、ビールは一杯だけ。焼酎はOK！大好きなカレーは、自分でつゆづくりに作り、香りと辛さを味わったら、残ったつゆは残念ながら捨てる。あとはこのハンドブックを片手に選ぶ。

先生がおっしゃった「髪が増えるよ！」という言葉に期待して、糖質を制限しながら始めて一か月。まずうれしかったのは、肉もマヨネーズも食べてもいいとの教えが背中を押しました。もともと72～3kgだった体重。今朝の結果は、68.6kg。体内年齢57才。現在すこぶる快適。

これからは、10年来続けているプールでのウォーキングの回数を増やして、体内年齢47才が目標です。

(山根)

編集後記

海外で、健康的な日本食がブームです。外人も箸使いがうまく、感心することがあります。私たち日本人はきれいな箸使いをしないと、恥ずかしく感じます。

また、目上の人との改まった席で、和食を食べる機会も少なくありません。マナーが悪いと、相手を不快にしてしまうこともあり、基本的な作法は身につけておきたいと思います。見た目が美しいと、料理も美味しく余裕をもって楽しめるようになると思います。

よく目にする光景で、料理がこぼれないように手のひらで受ける動作。これは、間違いで、日本料理は手のひらサイズの皿は持ってよいとされています。また、箸使いにも注意が必要で、正しい持ち方でないと品位が疑われます。また、器の上に渡してのせる「渡し箸」はダメで、箸を休めるときは箸置きにのせます。なければ箸袋を折り畳んで作ります。どれを食べるか迷って箸先を動かす「迷い箸」、刺して食べる「刺し箸」もダメです。

美しい箸使いで美味しく食べましょう。(長野)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で1名様に、中村天風の成功手帳を差し上げます。クイズの締切は11月末です。奮ってご応募下さい。

Q：今年のプロ野球日本シリーズは楽天が優勝しました。7戦まで行って盛り上がりました。さて楽天に島根県出身の選手がいます。教えてください。

先月号の答は、「1989年、竹下登」でした。米子市加田様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

- ・一日一絵一言 泣いて笑って 大野勝彦
山陰建設工業(株)小村会長から寄付
- ・食品別糖質量ハンドブック 江部康二 洋泉社
弊社山根社長から寄付
- ・ヤマト快進撃の秘密 (1990年3月10日発行)
坂口義弘 青年書館
- ・簸川地方式千語 NPO法人出雲学研究所
- ・世界のエリートはなぜ、「この基本」を大事にするのか？ 戸塚隆将 朝日新聞出版
- ・天佑なり 上・下 幸田真音 角川書店
- ・内向型人間の時代 社会を変える静かな人の力
スーザンEケイン 講談社
- ・いま日本人に読ませたい「戦前の教科書」
日下公人 祥伝社
- ・目で見てわかる金属材料の腐食対策 藤井哲雄
日刊工業新聞社
- ・はだしのゲン 第3巻、第4巻 中沢啓治 汐文社
- ・日本が戦ってくれて感謝しています アジアが賞賛する日本とあの戦争 井上和彦 産経新聞出版

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)



天ぷら油も貴重な燃料

11月1日から3日まで、出雲産業フェア2013が出雲ドームで開催されました。これは、出雲市内外の企業や団体の製品や技術を一堂に集め、市民や企業に情報発信し理解を図る目的です。今年、107の企業や団体が出展し、それぞれ趣向を凝らした出展物で、来場者の方々にPRしていました。

親子でつくる！クリスマスキャンドル教室



かわいいキャンドルをつくるからね!!



お客様がつくられた素敵なキャンドル

当社は、使用済み潤滑油・使用済み天ぷら油を混ぜる技術が確立し、新しい燃料が完成しました。このことにより、使用済み天ぷら油が燃料になることを市民のかたがたにPRすることを目的としました。

カラフルなクリスマスキャンドルに引かれ、小学生の子供さんとお母さんと一緒にブースを訪問され、「へー、天ぷら油がキャンドルに？」と、興味津々で挑戦しました。

使用済み天ぷら油を温めていくと、「エビ天のにおいがする・・・」など

と歓声が上がります。クレヨンを溶かし、天ぷら油凝固材・ろうを混ぜながら、60度くらいまで冷ましたところで、自分の好きな香りを付けていくのです。皆様、素敵なキャンドルが出来上がり、大満足！クレヨンや作り方説明書をお持ち帰りいただき、自宅でも挑戦していただきます。

聖夜、自作のクリスマスキャンドルに点灯し、「天ぷら油は貴重な資源である」ことを理解していただけたらと思います。



新しいブランドをつくる

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

私たちが長い間、地域から出る使用済み潤滑油（あえて廃油とは言わない）を回収し、新しいエネルギーにリサイクルしてきた再生重油が、晴れてJIS規格の認定を受ける日が近づいてきました。

しかも今回は、家庭で不要になった天ぷら油を、再生重油へ均質に混合した全く新しい考え方のボイラー用燃料（仮称：バイオ再生重油）も、同時にJISの認定を受けます。

JIS規格とは日本の工業製品の規格であり、製品に対する信頼性を、私たちがお客さまに保証する基本的な基準です。ですから私たちはJIS規格に基づく社内の品質管理の考え方を社内で統一する。その上で社内の品質管理体制を築き、結果お客さまに私たちへの信頼を高めていく。

今まで私たちの製品にJIS規格がなかったことも一つの理由で、結果重油よりはるかに安い価格で取引されてきたのです。それではJIS規格に合致していれば、品質が高ければ、それだけでお客さまから高く買っていただけるか？ 文房具店の店頭で鉛筆売場へ

行ってみてください。こんな例があります。M社の鉛筆は同じHBという規格内に、一本147円から94円まであります。もちろん100円ショップで同じメーカーで4本100円で、一本当たり25円です。

ただ書ければ良い人は、25円を買います。書道家とか絵をかく人は、価格をいわず高価な164円を買って、自分の作品を最高に仕上げることに集中します。

この例の大手企業は品揃えを多くできます。しかし私たち中小企業は、一点集中して、高価でも買っただけの商品とサービスのみを、必要とされるお客さまに提供します。つまりこの例で言えば、164円の価格設定をするのです。そして少ない販売数量でも、お客さまに差し上げる付加価値の高さを売って収益が上がるように目指すのです。

私たちの商品とサービスでお客さまの価値が上がり、お客さまがご繁栄される。こんなブランドを目指す。そして社員も会社も、この地域に貢献していることに、自信と誇りを持ちたい。

私はこう考え、こう実行します

【安原】品質管理体制を築く。

【松下】自分の仕事、私たちの商品に誇りをもち、お客さまと接する。

【河上】自分に出来ることを一つ一つ確実にやる。

【岸本】付加価値の高い商品やサービスを提供し、お客さまの繁栄のお手伝いをする。

【榎並】私たちの行っている仕事の価値を知ってもらえるように営業活動を行います。

【山口】私は自分の成長がお客さまのご繁栄につながると信じ、自分の価値を高めます。

【吾郷】効率の良い仕事を目指し、よく考えて行動します。

【木村】製品の状態を良質に保つ。

【木村憲】ブランドの勉強をする。

【岡田】付加価値の高いサービスと作業を行います。

【高橋】当社のブランドは、お客さまとその先にあるお客様が満足する商品と考え、行動します。

【長谷川】地域密着でこの地域に貢献します。

【横地】スキルアップを目指し、新しいことにも積極的にチャレンジしたいと思います。

【松本】常に高い目標を持ち、自信と誇りを持って安心安全作業をします。

【植尾】少しでもお客さまに高く買っていただくために自分達のレベルをあげる。

【恩村】地域のお客さまのご繁栄のお手伝いをしているということに自信をもって業務に励みます。

【小村】自分が今実行できることで現実的なことを「すぐ」に実行し、お客さまに合わせてスピーディーな対応をする。

【藤原】自分の仕事に自信をもちます。

【金森】お客さまから頼りにされる収集マンになる。

【藤原大】自分自身、作業経験をもっと増やしていき、がんばっ

ていく。

【田中】地域に貢献できる社員になりたいと思います。

【安達】安全作業でお客さまに安心してもらえるように心掛けます。

【野々村】お客さまのご繁栄のために努力を惜しまない。

【清水】私はもっと自信をつけたいと思います。

【石橋】より良い商品を提供します。

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)を徹底し、安全作業が出来るように常にチェックして、作業を行います。

【足立】私は自分が提供できるサービスを磨きます。

【藤田】商品について理解を深め、自信を持って仕事に臨みます。

【長野】エコス通信を常に進化させる。

「新車ですか？」

125号車が、約2ヶ月間の修理を終え、お客様先へ乗っていったときに、お客様から言われた言葉だ。

キャビンは錆で穴が開き、ドアも閉まりにくい状態でした。それが、修理を終え、帰ってきたときの姿は、まさに新車のように蘇り、光り輝いていた。

これほどまでにリファインされるとは、誰も思っていなかった。期待以上の出来上がりで、皆、感嘆の声をあげた。

今までに60万km走っているが、まだまだ働けそう。これからもしっかり仕事してもらおうよ。

修理していただいたG社様の話…

20年経過した車輛のため、既に車輛は生産中止になっているので、まず部品探しから始めた。幸運にも、新品の助手席ドアが中古品ネットワークで探し出せた。部品が無いものは、鉄板をたたくことから始めて、復元させた。

最初に修理依頼が来たときは、正直言って「えーっ」と思ったが、いざ始めてみるとのめり

みんな大喜び！



込んで職人の血が騒いだ。钣金には2週間、1名の職人がつきっきりで行なった。だんだん形が見えてくると、ピッチも上がっていった。

残念なことに現在は、物を直したり、創ったりする職人が減ってきているが、うちはベテランの職人が揃っていて、マニュアルに頼らず、なんにでも挑戦する。このたびは、皆さんに喜んでいただき、職人冥利に尽きる。



素晴らしい職人技を至る所で見られます。感謝です。

平成25年度全国経営研修会に参加して

オイルリサイクル業界を取り巻くエネルギー事情は急激に変化しています。今後の世界のエネルギー構想の変化を予想して経営政策を構築することが肝心です。また、緊急事態の対応や事業継続のための準備等今回のテーマとして取り上げられ、ディスカッションされました。

このたびは仙台市で開催され、被災地を訪問し、被災地企業から学ぶ事業継続ということで、貴重な講演もありました。

参加社員のレポートより

バスで被災地を訪問しました。女川では津波で被害を受け、建物が何もなくなった町を見ました。テレビで見る映像とは全く違った景色を実際に目の当たりにすると、震災当時はどんな状況だったのかと想像が付きませんでした。復旧は進んでいると聞きましたが、女川の町を見るとまだまだ時間がかかると感じました。「東北の人は元気です。みんながんばっています。だから皆さんも元気に行きましょう」と北上電設工業の高橋会長様が言うておられました。私たちはより元気を出して東北を元気づけなければならないと思いました。(岸本)

今回は危機管理について大きく時間が割かれていました。危機はいろいろな形態があり、すべてに事前に対策を立てることは不可能であることがわかりました。しかしながら、ものの見方考え方を訓練することで予期せぬ危機に対応できることもわかりました。

また、品質の評価や研究については当社はちよつとだけ前を走っていることもよくわかりました。しかし、品質の改善(灰分除去)については組合員の興味は大きく、組合が旗振りすれば、きっと数社は一緒になって実験に参加してもらえそうな手応えを感じました。(木村)

今回は業界を取り巻く激しい変化にどうやって事業を継続していくのか、その経営政策を危機管理に注目した研修でした。

一言に事業継続に関する危機といってもさまざま、オイルリサイクル業界を取り巻くエネルギー事情の急激な変化、事業継承の後継者問題、事業に関わる業務上のリスクとクライシス、BCP(事業継続計画)があり、そのどれもが事業継続に欠かすことのできない「今そこにある危機」として認識しなければならないことであることがわかりました。(高橋)